

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	5,578	富山県ドクターヘリの共同運航に係る負担金
合計	5,578	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ドクターヘリ導入状況
導入済：44道府県・54機（R3.6現在）
- ・広域連携の状況（H30.8月現在）
協定締結：23件

(2) 後年度の財政負担

- ・運用方法等について岐阜、富山両県及び運航調整委員会等で検討しながら、継続実施していく。
- ・費用負担のあり方についても、運用状況に応じ岐阜、富山両県で検討し必要に応じて見直しを行っていく。

(3) 事業主体及びその妥当性

- ・富山県が導入するドクターヘリを、共同事業の形で岐阜県でも活用するもの。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 岐阜県ドクターヘリが他の事案に出動中のため出動できない「重複要請」等による未出動事案を減少させるなど、岐阜県ドクターヘリの活動を補足、バックアップし、県民への救命救急医療提供体制を強化する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
① 富山県ドクターヘリの岐阜県出動件数	0 件 (H26)	23 件	30 件	30 件		100%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 平成 27 年 8 月 24 日に開始した富山県ドクターヘリ共同運航を継続。</p> <p>令和元年度、富山県ドクターヘリの岐阜県への出動件数は 33 件、新型コロナウイルスの影響により減少傾向で令和 2 年度は 23 件、令和 3 年は昨年度より若干増の見込み。</p>
令和3年度	<p style="color: red;">令和 5 年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和 6 年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>岐阜県ドクターヘリの出動件数は年々増加しており、出動件数の増加に伴い、他の救急事案に出動中に別の出動要請が入る、「重複要請」も増加している。これらをカバーし、一人でも多くの救急患者の生命、健康を守るために必要性の高い事業である。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 3	<p>富山県ドクターヘリが岐阜県へ出動することで、岐阜県ドクターヘリ活動のバックアップし、飛騨地域の救急医療体制強化に寄与している。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>共同運航に係る症例検討会を実施し、ドクターヘリの運航や救急活動について検証と改善を行いながら実施していく予定となっている。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 効率的な運航を行うため、関係者間で運航方法等について十分協議し、連携を図っていくことが必要である。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 症例検討会等において、運航状況や効果を検証し、内容の改善・充実を図りながら事業を継続実施していく予定。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	